



大村市立福重小学校 学校だより

令和3年7月19日(月)

あさひ

文責：校長 田中 康隆

目指す児童像：⑤ 明るさと愛する子・⑥ 学ぶ子・⑦ 心豊かな子・⑧ 元気な子

願い事が叶いますように

7月7日(水)は、七夕でした。1年生教室となのはな学級、はるかぜ学級では、七夕の飾りつけをしました。夜は、残念ながら天候が悪く星を見ることはできませんでしたが、子供たちの願いはキラキラと輝いていました。

「コロナがなくなったら、いっぱいりょうこうにいきたいです」「くるまやさんに、なりたいです」「あしがはやくなりたいです」「どうぶつのおいしゃさんになりたいです」「ペットショップのてんいんさんになりたい」「がくどうのかぶとむしが、1ねんかんいきられますように」等々、どれも子供らしい素敵な願い事でした。



大村市の特産品について調べました



3年生の総合的な学習の時間で、大村市の特産品について調べました。子供たちは、「大村寿司」「へこはずしおこし」「松原包丁」「煮ごみ」「ゆでピーナッツ」「黒田五寸人参」「三彩焼」「真珠工芸」等について調べています。

今年は、一人に一台タブレット端末があります。4月からの指導で、キーボードを使ったり、画面に直接触れたりして、かなり使いこなす子供も出てきています。世界的にみると日本の子供たちはPCをゲーム機としてとらえている割合が高いの

だそうですが、学習の道具として使えるよう今後も育てていきたいと思えます。

租税教室を行いました

7月15日(木)、6年生では、社会科の学習の一環として大村市税務課前田さん、川田さんを招き「租税教室」を実施しました。これは、次代を担う子供たちに、税の意義や役割を正しく理解させることを目的としています。ビデオを見たり、クイズをしたりしながら、「税金がどんなことに使われるのか」「1億円ってどれくらい?」について楽しく学習しました。

みんな、よく話を聞いて、積極的に学びました。

